

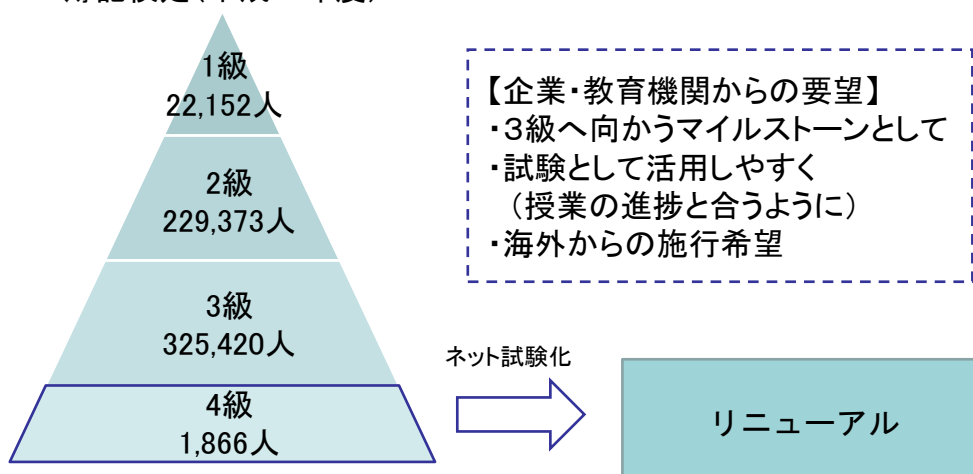
日商簿記初級の創設について

平成29年2月1日
日本商工会議所 事業部



簿記4級のリニューアル（ネット試験化）プラン

簿記検定（平成27年度）



4 級との比較

	4 級	初級
程度能力	小規模商店の経理事務に役立つ。 複式簿記の仕組みを理解し、 初歩的な記帳ができる。	ビジネスパーソンが業種・職種に関わらず日常業務をこなすための必須知識。 簿記の基本原理や複式簿記の仕組みを理解し、業務に活用できる。
内容	・ 簿記の基本原理 ・ 諸取引の処理（仕訳） ・ 決算	・ 簿記の基本原理 ・ 期中取引の処理（仕訳） ・ 月次の集計

簡易な決算整理が含まれる
＝経理担当の色合いが強い

日常業務中心の内容
使用する勘定科目は幅広い

Copyright 2017 The Japan Chamber of Commerce and Industry. All rights reserved.

■ 2 ■

4 級との比較

	4 級	初級
施行方法	ペーパー試験	ネット試験
試験日	年 3 回の統一試験日	試験会場のスケジュールでいつでも実施可能

試験日に向けて、
学習スケジュールを作成
(理解不十分でも進行)

学習スケジュールの進捗に合わせて試験を実施

- 【多様な活用方法】
- ・ 3 級に向けた中間試験
 - ・ 3 級不合格時のフォローアップ
 - ・ 企業研修等の修了テスト
 - ・ その他学習進捗確認テスト(単位認定)

Copyright 2017 The Japan Chamber of Commerce and Industry. All rights reserved.

■ 3 ■

簿記初級 概要

対象

- ・ビジネスパーソン全般(経理担当に特定しない)
- ・日商簿記3級取得に向けた学習者

→ 受験資格
制限なし
(従来どおり)

程度・出題内容

簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、
業務に利活用することができる。

- ・簿記の基本原理
- ・期中取引の処理(仕訳)
- ・月次の集計

試験方式 ネット試験(随時施行)

試験時間 40分

合格基準 100点満点で70点以上(合格率70%程度を目安)

受験料 2,160円(税込)

Copyright 2017 The Japan Chamber of Commerce and Industry. All rights reserved.

■ 4 ■

出題範囲：簿記の基本原則

- (1) 基礎概念
- ・資産、負債、および純資産(資本)
 - ・収益、費用
 - ・損益計算書と貸借対照表との関係

- (2) 取引
- ・取引の意義と種類
 - ・取引の8要素と結合関係

- (3) 勘定
- ・勘定の意義と分類
 - ・勘定記入法則
 - ・仕訳の意義
 - ・貸借平均の原理

- (4) 帳簿
- ・主要簿(仕訳帳と総勘定元帳)
 - ・補助簿

- (5) 証ひょうと伝票
- ・証ひょう
 - ・伝票(入金、出金、振替の各伝票)
 - ・伝票の集計・管理

黒字明朝		現4級範囲
青字ゴシック		現3級範囲
赤字ゴシックアンダーライン		現2級範囲
取消線明朝		現4級範囲で削除

Copyright 2017 The Japan Chamber of Commerce and Industry. All rights reserved.

■ 5 ■

第 1 問（基本原理の問題）

簿記検定 4 級 試験問題

第 1 問

(1) 次の各問の空欄にあてはまる答えとして、最も適当なものを選択肢から選びなさい。

1	は、企業の一定期日の財政状態を明らかにする表である。
2	従業員に支払われた給料は、取引要素の分類では の発生となる。
3	得意先より商品の注文を受けることは、簿記上の取引に 。
4	取引要素の結合関係において、資産の増加と負債の減少は同時に 。
5	勘定の記入法として、負債の は、借方に記入をおこなう。
6	借入金や などの債務を簿記では負債という。
7	仕訳にあたり、資産の減少は、 に記入をおこなう。

貸方
借方
摘要
元丁

第 2 問

出題範囲：期中取引の処理

別に定める勘定科目の範囲で、期中取引の処理（仕訳等）を行う。

- (1) 現金預金
- 現金
 - 当座預金、その他の預貯金
 - 現金出納帳

- (2) 売掛金と買掛金
- 売掛金、買掛金
 - クレジット売掛金

- (3) その他の債権と債務
- 貸付金、借入金
 - 未収入金、未払金
 - 前払金、前受金
 - 立替金、預り金
 - 仮払金、仮受金

- (4) 手形
- 振出、受入、支払
 - 電子記録債権・電子記録債務

- (5) 商品
- 分記法による売買取引の処理
 - 3分(割)法による売買取引の処理
 - 仕入および売上の返品

- (6) 固定資産
- 有形固定資産の取得
 - 有形固定資産の売却（土地のみを対象とする）
 - 減価償却（減価償却費は見積額を毎月計上する）

- (7) 純資産(資本)
- 資本金（追加元入、引出を含む）

- (8) 収益と費用
- （消耗品の処理は、支払い時に消耗品費勘定で処理する方法のみに限る）

- (9) 税金
- 所得税
 - 固定資産税
 - 印紙税（「固定資産税など」に含まれていたが初級では明記）
 - 消費税（税抜方式に限る）

第 2 問（仕訳問題）

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は選択肢の中から最も適当なものを使用すること。

1	仕入先東京商店に対する買掛金 ¥ 350,000の支払いとして、小切手を振り出した。			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
2	現金 ¥ 1,200,000と備品 ¥ 300,000を元入れして開業した。			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
	現金	1,200,000	現金	1,500,000
	備品	300,000	備品	
3	銀行に当座預金口座を開設し、現金 ¥ 1,000,000を預け入れた。			
	借方科目	金額	貸方科目	金額

8

出題範囲：月次の集計

別に定める勘定科目の範囲での試算表(合計、残高、合計残高)による月次集計を行い、数値を読み取る。

資産総額	負債残高	売上高
現金残高	買掛金残高(未払額)	費用総額
現金の純増加額	資本金(追加元入額)	当月の損益
(当座)預金残高	未払の税額	
売掛金回収額		
売掛金残高(未回収額)		等
商品残高(次期繰越)		
商品仕入高		

使用する勘定科目

資 産	現金	当座預金	普通預金	定期預金	受取手形
	売掛金	繰越商品	貸付金	立替金	前払金
	未収入金	建物	備品	車両運搬具	土地
	減価償却累計額	仮払消費税	電子記録債権	クレジット売掛金	
負 債	支払手形	買掛金	借入金	前受金	未払金
	預り金	未払固定資産税	仮受消費税	電子記録債務	
純資産(資本)	資本金				
収 益	商品売買益	売上	受取家賃	受取地代	受取手数料
	受取利息	固定資産売却益			
費 用	仕入	発送費	給料	広告宣伝費	支払手数料
	支払利息	旅費交通費	減価償却費	通信費	消耗品費
	水道光熱費	支払家賃	支払地代	保険料	租税公課
	修繕費	雑費	固定資産売却損		